平成29年度　国立教育政策研究所
教育課程研究センター関係指定事業 研究協議会

地理歴史における科目相互の連携

世界史・日本史を中心に



北海道伊達緑丘高等学校

◇日時◇ 平成30年2月9日（金）
◇会場◇ TKP渋谷カンファレンスセンター

発表者（研究主任） 寺沢　英幸　hide.r.terasawa@hokkaido-c.ed.jp

本校の生徒層

◇偏差値にみる学力層

- 「進研模試」平均点偏差値〈国数英〉
  - １年　41.0（11月実施・全員受験）
  - ２年　40.2（７月実施・全員受験）
- 「スタディーサポート」学習時間
  - １年　平日：43分（平均時間）
  - ２年　平日：43分（平均時間）

◇北海道学力等実態調査（H27）

- 「入学前に比べ学習意欲が高まった」
  - 本校：46.5%　全道：66.7%
- 「入学前に比べ学習時間が増えた」
  - 本校：36.8%　全道：57.0%



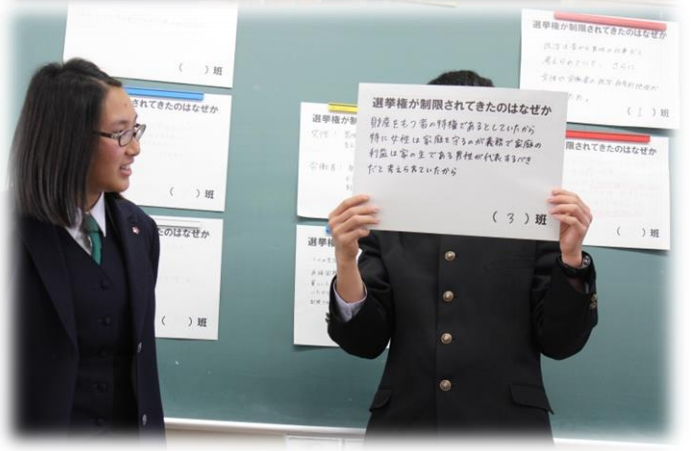




生徒の現状と課題







◇本校の校風～文武両道～

- 落ち着いた生徒層
- 調和のとれた学校生活
- 幅広い学力層，多様な進路ニーズ

◇生徒の学力・学習意欲の低下

- 「時間軸・空間軸」の認識不足
- 「語彙力・読解力」の不足
- 現状維持志向，従順だが受動的

◇講義型授業のデメリット

- テストや模試，受験のための授業
- 教科書を消化するための授業

⇒ “作業したり考えたり”する場面不足
“グループ等で協働”する場面不足

生徒の現状と課題（本校「授業・学習アンケート」より）

問　あなたは“どんなとき”に「学習の充実感や満足感」を得ることができますか？（「とても充実感や満足感を得ることができる」の割合）

A	新しい知識や技能を身に付けたとき	26%
B	難しい問題が解けるようになったとき	55%
C	学習で得られた知識や技能を活用したり、何かの役に立ったとき	30%
D	良い先生や友だちと一緒に学んだとき	28%
E	親や先生に褒めてもらったり、友だちから「すごいね」などと言われたとき	40%
F	テストや模試で良い点数を取ったとき	71%

本校の研究主題・研究仮説

地理歴史科における科目相互の連携を図った授業実践の研究

《研究仮説》

地理歴史科（世界史・日本史・地理）における科目相互の連携を図り、社会的事象の意味や意義、概念等を他科目と関連付けて総合的に捉えさせることで、地理歴史についての学習意欲や学力をより向上させることができるのではないか。

特に「歴史総合」を想定した授業デザイン
～世界史と日本史による連携～

研究目標〈伸ばしたい力〉

1　学力の向上

（１）学びに向かう力・人間性

（２）思考力・判断力・表現力

（３）生きて働く知識・技能

⇒「社会的な見方・考え方」の育成

- ◆社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察したり，解決に向けて構想したりする際の視点・方法
- ◆時期・推移，類似・差異，因果関係等（歴史的な見方・考え方）

2　学習意欲の向上

（１）学ぶ意義の理解・深化

（２）能動的に粘り強く取り組む

（３）他者と協働・対話できる







具体的手立て〈達成に向けて〉

1　授業実践（科目相互の連携）

（１）世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉える

（２）主体的・対話的で深い学び

⇒「問い」の構造化による単元等のまとまりを見通した課題解決型の学習過程

2　地域の教育資源等を活用

（１）体験学習の実施

（２）外部の人材・物的資源の活用

3　研究内容の検証・改善

（１）学習評価にみる生徒の変容

（２）アンケートによる生徒の変容







具体的手立て①《授業実践》

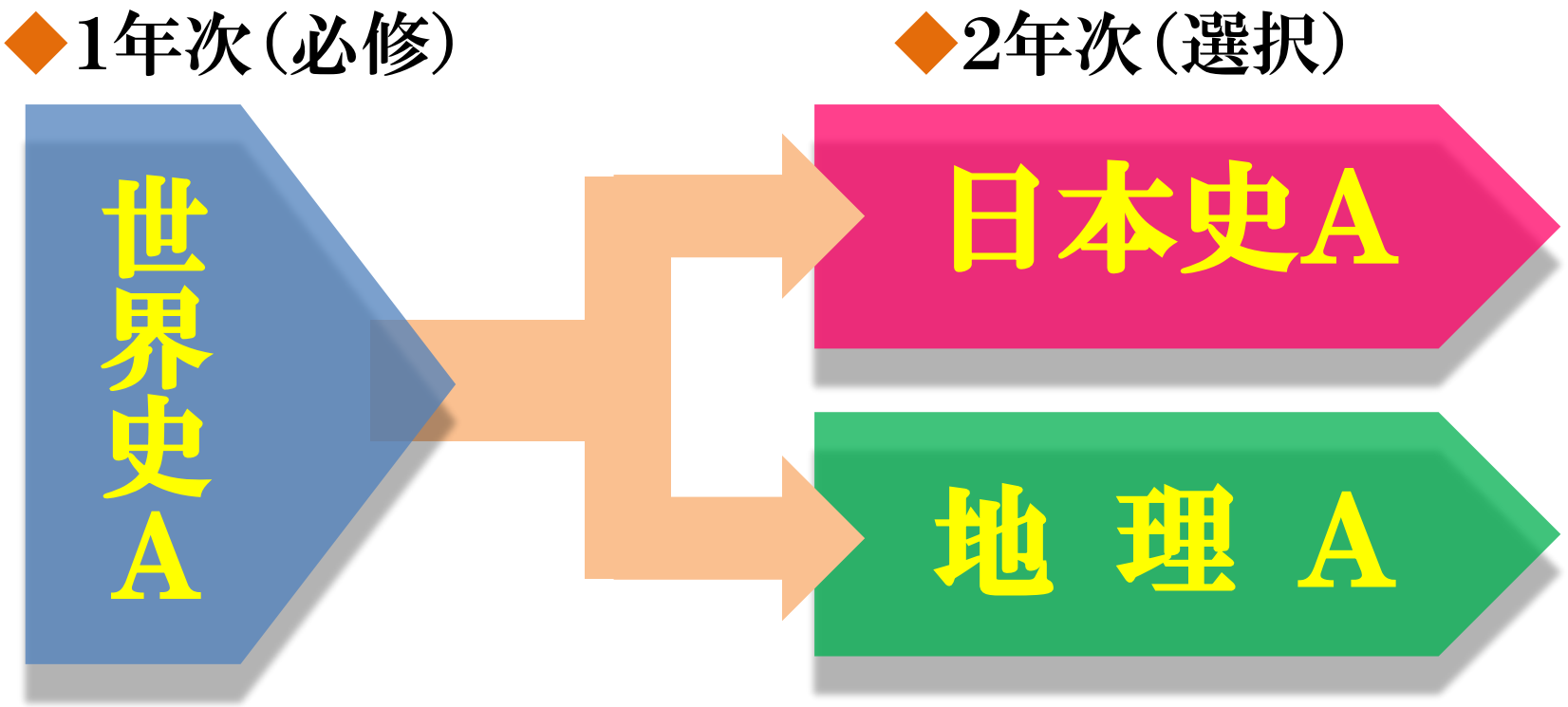
科目相互の連携（地理歴史）の視点（例）

- 各科目（世界史・日本史・地理）での中心となる学習内容に他科目の要素（エッセンス）を加え、より多面的・多角的に考察を深める。《内容》
  ⇒ 比較（類似・差異）、因果関係（関連付け）
- 各科目で学習したこと（知識や見方・考え方）を活用して考察したり、教え合ったりする。《方法》
  ⇒ 例）「地理」生徒と「日本史」生徒でグループ学習
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等から、現代的な諸課題の解決（よりよい社会の実現）に向けて構想する。《意義・目的》
  ⇒ 例）「資本主義は持続可能な経済か」

具体的手立て①《授業実践》

本校における年間指導計画

- １年「世界史Ａ」の単元構成モデル【※別紙参照】
- ２年「日本史Ａ」の単元構成モデル【※別紙参照】



具体的手立て①《授業実践》

「問い」づくりの視点（ベース）

- 推移（変化）、比較（類似・差異）、事象同士の関連（背景・原因・結果・影響）、事象の意味や意義《見方、考察》
  ⇒ 例）「どのように（どのような）……」「なぜ……」
- 選択・判断を促す。《考え方、構想》
  ⇒ 例）「A or B」「A or not A」「賛成か反対か」「可能か」
- 「○○の側面」で考える。⇒ 経済面…文化面…政治面…
- 「○○の立場」で考える。⇒ 士族の立場…民権派の立場…
- 生徒自身が問いを立てる。
- 「正解のない問い」に向き合う。
- 歴史を評価（再評価）する。本当にそうか？

具体的手立て①《授業実践》

現行「世界史A」のなかで（本校例）

《単元名》結び付く世界と近世の日本

《日本史（歴史総合）との関連》

近代化と私たち　（1）結び付く世界と日本

世界の一体化～異なる地域同士の接触と交流～は何をもたらしたか？

① なぜ石見銀山はヨーロッパにも知られていたのか
② なぜ明は足利義満との貿易を許可したのだろうか
③ なぜ清は貿易港を広州１港に限定したのか
④ 制限貿易と自由貿易はどちらがよいだろうか
⑤ コロンブスの交換は何をもたらしたか
⑥ なぜカトリックは否定されたのか
⑦ 旧教・新教の対立はヨーロッパに何をもたらしたか
⑧ なぜキリスト教は日本の権力者に認められなかったのか

具体的手立て①《授業実践》

現行「日本史A」のなかで（本校例）

《単元名》日清・日露戦争

《日本史（歴史総合）との関連》

近代化と私たち　（4）アジア・アフリカの変容

日清・日露戦争はアジアに何をもたらしたか？
～日本の帝国主義化を支持する？支持しない？～

① 日清・日露戦争を経て国際環境はどのように変化したか
② 清や朝鮮の改革はなぜ成功しなかったのか
③ 日本と清は連帯すべきか？対決すべきか？
④ 日露開戦に賛成か？反対か？
⑤ 日露戦争の結果を国際世論はどのようにみていたか
⑥ 日本の帝国主義化はアジアに何をもたらしたか

具体的手立て①《授業実践》

単元のまとまりを見通した課題解決型の学習過程（実践例）

日清・日露戦争はアジアに何をもたらしたか？
～日本の帝国主義化を支持する？支持しない？～

《小さな問い～授業で追究～》	《学習のまとめ・振り返り》
①日清・日露戦争を経て国際環境はどのように変化したか	帝国主義とは何か？ 支持？不支持？（第1回判断）
②清や朝鮮の改革はなぜ成功しなかったのか	
③日本と清は連帯すべきか？対決すべきか？	日清戦争が東アジアや欧米列強にもたらした影響は？ 支持？不支持？（第2回判断）
④日露開戦に賛成か？反対か？	日露開戦を支持する？支持しない？その理由は？
⑤日露戦争の結果を国際世論はどのようにみていたか	
⑥日本の帝国主義化はアジアに何をもたらしたか	日露戦争はアジアに何をもたらしたか？ 支持？不支持？（最終判断）

主体的・対話的で深い学び

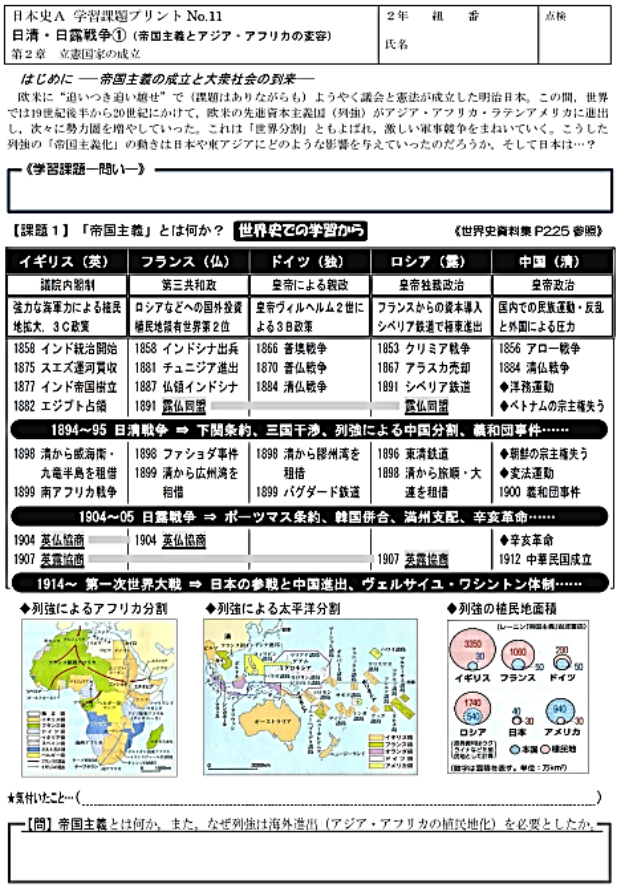
具体的手立て①《授業実践》

単元のまとまりを見通した課題解決型の学習過程（実践例）

① 日清・日露戦争を経て国際環境はどのように変化したか

⇒ 帝国主義とは何か？／**支持する？しない？（第1回判断）**

「世界史」既習事項の復習。同年代における各国史の比較，諸資料から帝国主義の概念や特色について振り返る。



日本史A 学習課題プリント No.11
日清・日露戦争①（帝国主義とアジア・アフリカの変容）
第2章 立憲国家の成立

2年 組 番 氏名 点検

はじめに ―帝国主義の成立と大衆社会の到来―

欧米に“追いつき追い越せ”で（課題はありながらも）ようやく議会と憲法が成立した明治日本。この間，世界では19世紀後半から20世紀にかけて，欧米の先進資本主義国（列強）がアジア・アフリカ・ラテンアメリカに進出し，次々に勢力圏を増やしていった。これは「世界分割」ともよばれ，激しい軍事戦争をまねいていく。こうした列強の「帝国主義化」の動きは日本や東アジアにどのような影響を与えていったのだろうか。そして日本は…？

《学習課題―問い―》

【課題1】「帝国主義」とは何か？ 世界史での学習から 《世界史資料集 P225 参照》

イギリス（英）	フランス（仏）	ドイツ（独）	ロシア（露）	中国（清）
議院内閣制	第三共和政	皇帝による親政	皇帝独裁政治	皇帝政治
強力な海軍力による植民地拡大，3C政策	ロシアなどへの国外投資 植民地獲得世界第2位	皇帝ヴィルヘルム2世による3B政策	フランスからの資本導入 シベリア鉄道で極東進出	国内での民族運動・反乱と外国による圧力
1858 インド統治開始	1858 インドシナ出兵	1866 普墺戦争	1853 クリミア戦争	1856 アロー戦争
1875 スエズ運河買収	1881 チュニジア進出	1870 普仏戦争	1867 アラスカ売却	1884 清仏戦争
1877 インド帝国樹立	1887 仏領インドシナ	1884 清仏戦争	1891 シベリア鉄道	◆洋務運動
1882 エジプト占領	1891 露仏同盟		露仏同盟	◆ベトナムの宗主権失う
1894～95 日清戦争 ⇒ 下関条約，三国干渉，列強による中国分割，義和団事件……				
1898 清から威海衛・九竜半島を租借	1898 ファショダ事件	1898 清から膠州湾を租借	1896 東清鉄道	◆朝鮮の宗主権失う
1899 南アフリカ戦争	1899 清から広州湾を租借	1899 バグダード鉄道	1898 清から旅順・大連を租借	◆変法運動
				1900 義和団事件
1904～05 日露戦争 ⇒ ポーツマス条約，韓国併合，満州支配，辛亥革命……				
1904 英仏協商	1904 英仏協商			◆辛亥革命
1907 英露協商			1907 英露協商	1912 中華民国成立
1914～ 第一次世界大戦 ⇒ 日本の参戦と中国進出，ヴェルサイユ・ワシントン体制……				

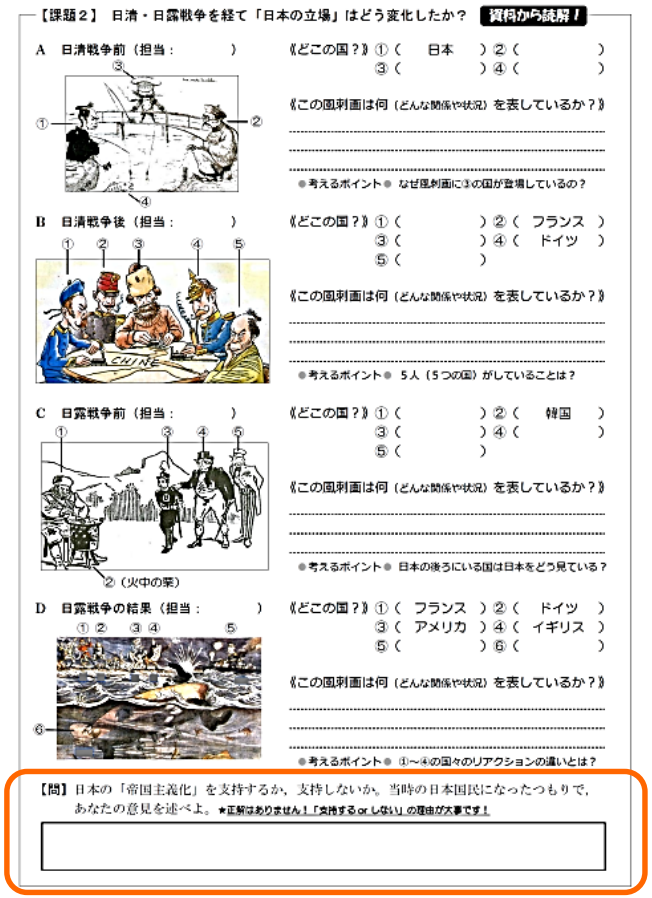
◆列強によるアフリカ分割

◆列強による太平洋分割

◆列強の植民地面積

★気付いたこと…（　　）

【問】帝国主義とは何か，また，なぜ列強は海外進出（アジア・アフリカの植民地化）を必要としたか。



【課題2】 日清・日露戦争を経て「日本の立場」はどう変化したか？ 資料から読解！

A 日清戦争前（担当：　　）

《どこの国？》①（　日本　）②（　　）③（　　）④（　　）

《この風刺画は何（どんな関係や状況）を表しているか？》

●考えるポイント● なぜ風刺画に③の国が登場しているの？

B 日清戦争後（担当：　　）

《どこの国？》①（　　）②（ フランス ）③（　　）④（ ドイツ ）⑤（　　）

《この風刺画は何（どんな関係や状況）を表しているか？》

●考えるポイント● 5人（5つの国）がしていることは？

C 日露戦争前（担当：　　）

②（火中の栗）

《どこの国？》①（　　）②（ 韓国 ）③（　　）④（　　）⑤（　　）

《この風刺画は何（どんな関係や状況）を表しているか？》

●考えるポイント● 日本の後ろにいる国は日本をどう見ている？

D 日露戦争の結果（担当：　　）

《どこの国？》①（ フランス ）②（ ドイツ ）③（ アメリカ ）④（ イギリス ）⑤（　　）⑥（　　）

《この風刺画は何（どんな関係や状況）を表しているか？》

●考えるポイント● ①～④の国々のリアクションの違いとは？

【問】日本の「帝国主義化」を支持するか，支持しないか。当時の日本国民になったつもりで，あなたの意見を述べよ。★正解はありません！「支持するorしない」の理由が大事です！

国際環境の変化について風刺画から捉え，日本の帝国主義化について意見を表明する。

支持する？支持しない？（第1回判断）

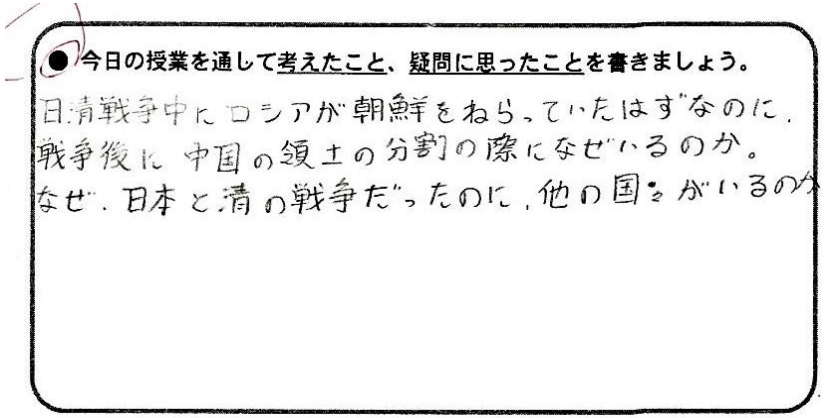
具体的手立て①《授業実践》

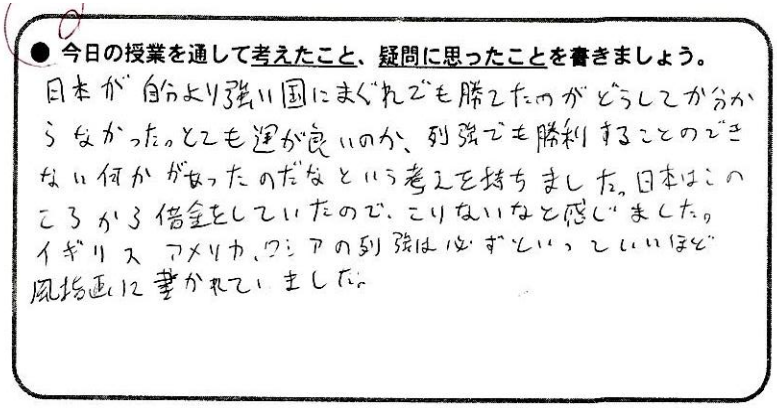
単元のまとまりを見通した課題解決型の学習過程（実践例）

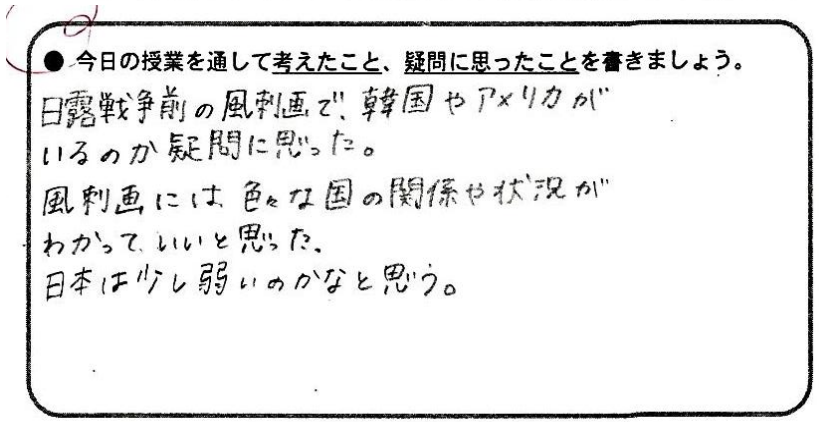
① 日清・日露戦争を経て国際環境はどのように変化したか

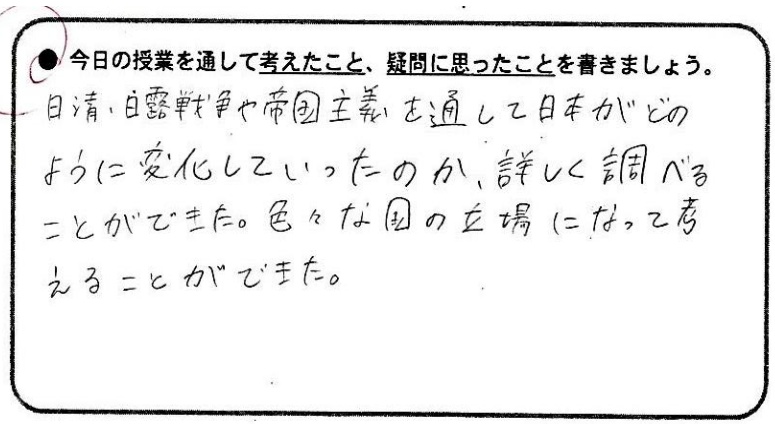
⇒ 帝国主義とは何か？／**支持する？しない？（第1回判断）**

「考えたこと」「疑問に思ったこと」の振り返り









具体的手立て①《授業実践》

単元のまとまりを見通した課題解決型の学習過程（実践例）

③ 日本と清は連帯すべきか？対決すべきか？

⇒ 日清戦争が東アジアや欧米列強にもたらした影響とは？／

支持する？しない？（第2回判断）



【課題３】 清や朝鮮の改革はなぜ成功しなかったのか？（保守か開明か） 思考を深めよう

《朝鮮国内の動向》

朝鮮は清を宗主国（朝貢して保護してもらう）としており，鎖国していた。1875 年，日本が朝鮮近海に軍艦を派遣して挑発した❶＿＿＿＿事件をきっかけに朝鮮に開国を迫り，1876 年❷＿＿＿＿条規が結ばれた。これは日本の❸＿＿＿＿権を認めさせる不平等条約であった。

開国以後，朝鮮国内では日本の明治維新にならい近代化を進めようとする開化派（親日派）勢力が台頭してきた。しかし国王高宗の父である❹＿＿＿＿を中心とする保守派（親清派）と対立した。

《中国国内の動向》

中国（清）では，アヘン戦争や太平天国の乱などで長く混乱したが，1860～70 年代にかけて政治が安定し，軍事技術を中心にヨーロッパの近代工業をとりいれて富国強兵をはかる❺＿＿＿＿運動が展開された。これらの改革は，太平天国の鎮圧に活躍した曾国藩や❻＿＿＿＿らの漢人官僚を中心に推進されたが，**中国の伝統や制度を保持しようとしたため，自由主義や立憲主義などは考慮されなかった。**

一方，中華思想に基づく伝統的な冊封・朝貢体制も限界をむかえていた。清には朝鮮・ベトナム・ビルマ・タイ・ネパールなどが朝貢し，冊封を受けていたが，フランスのインドシナ進出に伴い，ベトナムの宗主権を失っていた。

【日清開戦までのおもな出来事】

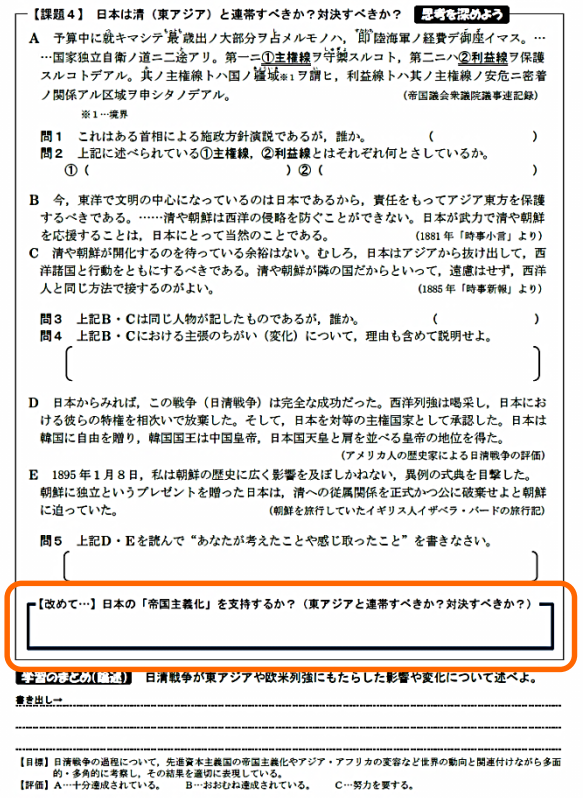
年　代	出来事	解　説
1882（明治 15）	壬午軍乱	
1884（明治 17）	甲申事変	
1885（明治 18）	天津条約	
1889（明治 22）	防穀令	
1894（明治 27）	甲午農民戦争	
	日英通商航海条約	

問１　清や朝鮮国内において，近代化に向けた改革が保守派の反対にあったのはなぜだろうか。

※調べたことや考えたこと

問２　上記の動向を踏まえ，日清戦争前後における「日本・清・朝鮮」との関係や関連する出来事について，それぞれまとめよう。（※まとめ方は自由ですが，文章のみではなく図を用いて表現できるとよい）

日清戦争前における【日本・清・朝鮮】	日清戦争後における【日本・清・朝鮮】
●ポイント● これまでの学習を踏まえて整理しよう	●ポイント● 下関条約の結果どうなったか。朝鮮の反応は？



【課題４】 日本は清（東アジア）と連帯すべきか？対決すべきか？ 思考を深めよう

A　予算中に就キマシテ最モ歳出ノ大部分ヲ占メルモノハ，即陸海軍ノ経費デ御座イマス。…
…国家独立自衛ノ道ニ二途アリ。第一ニ①主権線ヲ守護スルコト，第二ニハ②利益線ヲ保護スルコトデアル。其ノ主権線トハ国ノ疆域※1ヲ謂ヒ，利益線トハ其ノ主権線ノ安危ニ密着ノ関係アル区域ヲ申シタノデアル。（帝国議会衆議院議事速記録）

※1…境界

問１　これはある首相による施政方針演説であるが，誰か。（　　）

問２　上記に述べられている①主権線，②利益線とはそれぞれ何とさしているか。

①（　　）②（　　）

B　今，東洋で文明の中心になっているのは日本であるから，責任をもってアジア東方を保護するべきである。……清や朝鮮は西洋の侵略を防ぐことができない。日本が武力で清や朝鮮を応援することは，日本にとって当然のことである。（1881 年「時事小言」より）

C　清や朝鮮が開化するのを待っている余裕はない。むしろ，日本はアジアから抜け出して，西洋諸国と行動をともにするべきである。清や朝鮮が隣の国だからといって，遠慮はせず，西洋人と同じ方法で接するのがよい。（1885 年「時事新報」より）

問３　上記B・Cは同じ人物が記したものであるが，誰か。（　　）

問４　上記B・Cにおける主張のちがい（変化）について，理由も含めて説明せよ。

D　日本からみれば，この戦争（日清戦争）は完全な成功だった。西洋列強は喝采し，日本における彼らの特権を相次いで放棄した。そして，日本を対等の主権国家として承認した。日本は韓国に自由を贈り，韓国国王は中国皇帝，日本国天皇と肩を並べる皇帝の地位を得た。（アメリカ人の歴史家による日清戦争の評価）

E　1895 年１月８日，私は朝鮮の歴史に広く影響を及ぼしかねない，異例の式典を目撃した。朝鮮に独立というプレゼントを贈った日本は，清への従属関係を正式かつ公に破棄せよと朝鮮に迫っていた。（朝鮮を旅行していたイギリス人イザベラ・バードの旅行記）

問５　上記D・Eを読んで“あなたが考えたことや感じ取ったこと”を書きなさい。

【改めて…】日本の「帝国主義化」を支持するか？（東アジアと連帯すべきか？対決すべきか？）

本時のまとめ（最終）　日清戦争が東アジアや欧米列強にもたらした影響や変化について述べよ。

書き出し→

【目標】日清戦争の過程について，先進資本主義国の帝国主義化やアジア・アフリカの変容など世界の動向と関連付けながら多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。
【評価】A…十分達成されている。　B…おおむね達成されている。　C…努力を要する。

山県有朋の演説（朝鮮進出の必要性）や脱亜論，下関条約後の朝鮮に対する外国人の見方などから日本の帝国主義化がさらに進んでいったことを読み取る。

支持する？支持しない？（第2回判断）

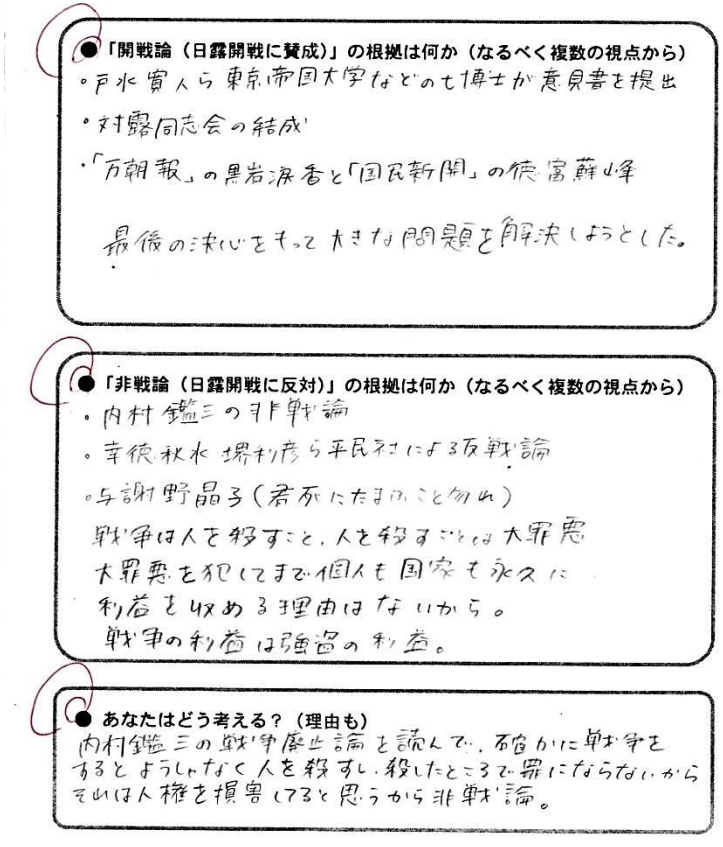
具体的手立て①《授業実践》

単元のまとまりを見通した課題解決型の学習過程（実践例）

④ 日露開戦に賛成か？反対か？

⇒ 日露開戦を支持する？支持しない？その理由は？

「下調べカード」による記述



●「開戦論（日露開戦に賛成）」の根拠は何か（なるべく複数の視点から）
・戸水寛人ら東京帝国大学などの博士が意見書を提出
・対露同志会の結成
・「万朝報」の黒岩涙香と「国民新聞」の徳富蘇峰
最後の決心をもって大きな問題を解決しようとした。

●「開戦論（日露開戦に賛成）」の根拠は何か（なるべく複数の視点から）
日本は既に一度遼東半島を返還している。（三国干渉）
それに加えて、ドイツの膠州湾占領、がおき、
日本が不利な状態になっている。
この問題を解決するためにも戦うべき。
ロシアの南下政策を止める。

●「非戦論（日露開戦に反対）」の根拠は何か（なるべく複数の視点から）
・内村鑑三の非戦論
・幸徳秋水 堺利彦ら平民社による反戦論
・与謝野晶子（君死にたまふことなかれ）
戦争は人を殺すこと、人を殺すことは大罪悪
大罪悪を犯してまで個人も国家も永久に
利益を収める理由はないから。
戦争の利益は強盗の利益。

●「非戦論（日露開戦に反対）」の根拠は何か（なるべく複数の視点から）
戦争をすることで多くの人が亡くなり、また多くの人が人を殺すことに
なる。そんなことをしても、個人も国家も永久に利益を収め
得るはずがない。
人の命を尊うべきである。

●あなたはどう考える？（理由も）
内村鑑三の戦争廃止論を読んで、確かに戦争を
するとようしゃなく人を殺すし、殺したところで罪にならないから
それは人権を損害してると思うから非戦論。

●あなたはどう考える？（理由も）開戦論
ロシアのせいになって、日本が不利になるのであれば、それを
食い止めるべきだと思う。

具体的手立て①《授業実践》

単元のまとまりを見通した課題解決型の学習過程（実践例）

⑥ 日本の帝国主義化はアジアに何をもたらしたか

⇒ 日露戦争はアジアに何をもたらしたか？／**支持？不支持？**

（最終判断）「リフレクションシート」による記述

● 日露戦争はアジアに何をもたらしたか。各国の反応（新聞記事）なども参考にこれまでの学習を踏まえて書きなさい。また、日本の帝国主義化に賛成か反対か。あなたが考えたことも書きなさい。

・アジア諸国に対して、日露戦争で、日本が勝利したことは大きな希望や新しい誇りをもたらした。

・日本の帝国主義化に、賛成。日露戦争で日本には大きな損害を残したが、他の列強諸国やアジア諸国からも認めてもらえているし、もっと新しい文化を取り入れられると思うから。

● 日露戦争はアジアに何をもたらしたか。各国の反応（新聞記事）なども参考にこれまでの学習を踏まえて書きなさい。また、日本の帝国主義化に賛成か反対か。あなたが考えたことも書きなさい。

日本は西欧諸国に対抗する新たな勢力だということ、もっと日本のことを学び模範にしようという国がでてくるキッカケとなった。アジア諸国には希望の光となったと思う。

日本の帝国主義には賛成です。

先進化するためには、資源や安価な労働力が必要となってくると思うし、日本は小さい国だから自国だけでは補えきれないと思うからです。

● 日露戦争はアジアに何をもたらしたか。各国の反応（新聞記事）なども参考にこれまでの学習を踏まえて書きなさい。また、日本の帝国主義化に賛成か反対か。あなたが考えたことも書きなさい。

辛亥革命を起こし孫文が日本で1905年に中国革命同盟会を結成。

ベトナム東遊運動なども、アジアに影響をもたらした。

日本の帝国主義に反対。

軍事力ではなく他の方法で主義、文化、宗教、経済体系などで拡大してほしい。

● 日露戦争はアジアに何をもたらしたか。各国の反応（新聞記事）なども参考にこれまでの学習を踏まえて書きなさい。また、日本の帝国主義化に賛成か反対か。あなたが考えたことも書きなさい。

日露戦争に日本が勝ったことにより、アジアのヨーロッパに植民地とされていた国々は次々と植民地脱退を目指して動き始めた。

日本の帝国主義化については私は反対です。なぜかというとロシアに勝ったことにより、今までより帝国主義化が強まったことにより、あゆる国から反対されることになったと思うからです。

具体的手立て①《授業実践》

単元のまとまりを見通した課題解決型の学習過程（実践例）

★生徒Ａの記述

風刺画による日本の変化（帝国主義化）を概観

・支持しない。戦費は国民からの税金で成り立っているから、次々と資源などを求めて外国に進出するということは、その分のお金は国民の負担になると思うから。

日清開戦について

・支持する。近代化をしない近隣諸国より西洋列強に認められた方が日本の地位もあがると思うし立場も安定すると思うから。

日露開戦について

・開戦論を支持する。ロシアの言いなりになって日本が不利になるのであれば、それを食い止めるべきだと思う。

日本の帝国主義化について

・支持する。日本がロシアに勝利したことで、アジア人の意識が一変した。日本の存在が世界で認められてきて（日露戦争の勝利）いるから、勢力拡大するチャンスと考えたのではないか。

★生徒Ｂの記述

風刺画による日本の変化（帝国主義化）を概観

・支持する。列強とつながりを持つことで、これからの日本が発展していけると思うから。そして不平等条約の改正は日本にとって良いことだから。

日清開戦について

・支持しない。東アジアと連帯するべきだと思う。列強は日本の近くの国よりも強いと思うが、連帯した方が日本のためではないかと思ったから。

日露開戦について

・非戦論を支持する。内村鑑三や与謝野晶子が書いたものを見ると戦争は人が死んでいくから、それなら戦争などしない方が良かったと思う。

日本の帝国主義化について

・支持する。ナショナリズムを急速に高め、アジアの目覚めの発端、出発点となった。列強の仲間入りをすることにより、日本が強くなると思うから。

具体的手立て①《授業実践》

評価問題（実践例） １年「世界史A」

A　日本で南北朝の対立がおこると，政治の混乱で海上の秩序は乱れ，ａ倭寇の動きが活発となった。彼らは朝鮮半島や中国の沿岸をおそった。中国で［ X ］が漢民族の王朝である明を建国すると，明は［ Ⅰ ］をめざし，近隣諸国に通交を求めた。明の呼びかけを知った室町幕府の足利義満は1401年，ｂ明と国交を開いた。また義満はｃ朝鮮との国交を開いた。なお中山王の尚巴志が統一した（　１　）王国も明との朝貢貿易で得た物資を用いて東シナ海と南シナ海とを結ぶ貿易の要となった。

B　鎌倉幕府のもとで日宋間の国交は［ Ⅱ ］が，私的貿易や僧侶商人の往来など，通交はさかんに行われ，日本列島は宋を中心とする東アジア通商圏の中に組み入れられていった。中国では［ Y ］が都を大都（北京）に移し，国号をｄ元と定めると，高麗を全面的に服属させ，日本に対してたびたび朝貢を要求してきた。幕府の執権北条時宗がこれを拒否すると，二度にわたる（　２　）が起こった。

問４　文中の空欄［ Ⅰ ］・［ Ⅱ ］に入る文言の組合せとして適当なものを後の①～④から番号で選べ。

空欄［ Ⅰ ］
空欄［ Ⅱ ］

ア　新しい国際秩序の構築
イ　伝統的な国際秩序の回復
ウ　正式に開かれていた
エ　正式に開かれていなかった

①　Ⅰ－ア　Ⅱ－ウ
②　Ⅰ－ア　Ⅱ－エ
③　Ⅰ－イ　Ⅱ－ウ
④　Ⅰ－イ　Ⅱ－エ

具体的手立て①《授業実践》

評価問題（実践例） ２年「日本史A」

《1881年「時事小言」より》

今，東洋で文明の中心になっているのは日本であるから，責任をもってアジアを保護するべきである。……清や朝鮮は西洋の侵略を防ぐことができない。日本が武力で清や朝鮮を応援することは，日本にとって当然のことである。

【問い】なぜ［ イ ］の考え方は変化したのだろうか？

〈背景〉１）列強による帝国主義政策とアジア進出
２） b 朝鮮問題と清朝政府の対応
３） c イギリスとの連携

【答え】［ ウ ］

《1885年「時事新報」より》

清や朝鮮が開化するのを待っている余裕はない。むしろ，日本はアジアから抜け出して，西洋諸国と行動をともにするべきである。清や朝鮮が隣の国だからといって，遠慮はせず，西洋人と同じ方法で接するのがよい。

問５　Aのリード文（５ページ）にある【問い】「なぜ［ イ ］の考え方は変化したのだろうか？」に対する【答え】［ ウ ］にあてはまる文について記述せよ。
解答欄は３行用いることとする。※行の不足は内容が正解でも減点する。

具体的手立て①《授業実践》

評価問題（実践例） ２年「日本史A」

問７　下線部ⓕ「**第一次世界大戦で浮上した諸問題は，現代にいたる課題としても重要である**」（10ページのリード文）とは具体的にどういうことか。次の〈キーワード〉から**２語以上**必ず用いて，あなたの見解を述べよ。解答欄は４行用いることとする。

〈キーワード〉	総力戦	大衆化 （大衆社会）	国際協調	植民地

具体的手立て①《授業実践》

評価問題（実践例） １年「世界史A」

問５　下線部 f とあるが，この「旧制度」について示した次の〈史料〉と〈絵〉について，後の(1)～(3)の問いにおのおの答えよ。

〈史料〉

1　第三身分とは何か。すべてである。

2　政治制度において今日まで何であったか。無。

3　何を要求するか。［　　］。

（アベ＝シェイエス『第三身分とは何か』より）

〈絵〉



(1) この「旧制度」のことをカタカナで何というか。

(2) この「旧制度」について，上の〈絵〉を参考にして説明せよ。

(3) 上記の空所［　　］にふさわしい文言について，あなたなら何を要求するか。“第三身分”になったつもりで，10字以上で答えよ。

具体的手立て①《授業実践》

学習評価(「日本史A」の場合)

- 定期考査(ペーパーテスト)による評価問題 … 50%
- 小テストによる評価問題 … 20%
- ワークシート、課題、提出物、発表等の成果 … 20%
- 授業態度等 … 10%

- 「何を身に付けさせたいか」《指導と評価の一体化》
  ⇒ 達成目標(問い)の設定、ルーブリック……
  日頃の授業や評価問題等に反映されているか
- 生徒の意欲(やる気)を引き出す評価《評価の妥当性》
  ⇒ 頑張っているのに評価に結び付かない……
  評価の見直し、フィードバック
- 「得点」や「ABC……」が独り歩きしていないか

具体的手立て②《教育資源等の活用》

体験活動を通した「見方・考え方」の育成

- 1年「縄文遺跡体験学習」《史跡・北黄金貝塚》
  ⇒ 学芸員（研究者）による講義
  現地での植樹体験，生活体験
- 2年「火山の歴史と防災」《洞爺湖・有珠ジオパーク》
  ⇒「日本史」「地理」受講生徒によるチーム編成
  ジオパーク関係者，火山マイスター等との連携
- 2年「地域の歴史と町づくり」《市や団体との連携》
  ⇒ 伊達市開拓の歴史を学ぶ
  歴史を踏まえた，現代の町づくりワークショップ

※詳しくは本校のWebページにて紹介しています。
（本日の報告では割愛させていただきます）

具体的手立て③《研究成果の検証》

「アンケート」の結果より

《授業全般について》	1年 世界史A		2年 日本史A	
① この科目が好きだ	65%	(58%)	52%	(47%)
② 授業内容は理解できる	60%	(68%)	80%	(65%)
③ 意欲的に授業に取り組んでいる	76%	(77%)	79%	(70%)
④ テストは難しいと思う	88%	(80%)	77%	(61%)
⑤ もっとレベルの高い授業をしてほしい	13%	(21%)	4%	(11%)
⑥ 話合いやグループ学習等の時間がある	95%	(40%)	98%	(24%)
⑦ 宿題がよく出される	49%	(41%)	82%	(36%)
⑧ 家庭学習に取り組むことが比較的多い	22%	(31%)	65%	(40%)

※(　　)内の数字は「地理歴史」以外の主要4教科(国・数・理・英)の平均

具体的手立て③《研究成果の検証》

「アンケート」の結果より

《世界史・日本史の関連について》

	1年 世界史A	2年 日本史A
① 授業を通して「世界史と日本史はつながっている」と実感しているか	57%	82%
②「世界史」と「日本史」の関連を学ぶことは大切であると思うか	77%	92%
③ 歴史を学ぶことは多様な社会を生きる上で必要であると思うか	63%	82%
④「世界史」の授業の中で、日本史の内容や世界と日本の結び付きに触れることは、世界史の内容理解や苦手意識の克服につながると思うか	64%	—

※上記は「肯定的回答」（とてもそう思う・どちらかといえばそう思う）の割合
※④は「1年世界史」の生徒のみ回答

具体的手立て③《研究成果の検証》

「アンケート」の結果より（２年間を通じて）

《生徒の変容について》

	2年 日本史A
①「世界史」の学習が「日本史」の学習に活かされていると思うか	73%
②「世界史」「日本史」の授業を通して，世界や日本との結び付きや相互の歴史文化，現代的な諸課題についての関心が高まったと思うか	62%
③「世界史」「日本史」の授業を通して，思考力（考える力）や表現力（文章やレポートにまとめたり，発表したりする力）が高まったと思うか	78%
④「世界史」「日本史」の授業を通して，知識の吸収だけでなく，歴史的な見方や考え方（歴史を捉える視点）を身に付けることができたと思うか	77%

※上記は「肯定的回答」（とてもそう思う・どちらかといえばそう思う）の割合
※「２年日本史」の生徒（１年次「世界史」から授業実践を重ねた生徒）のみ回答

具体的手立て③《研究成果の検証》

歴史を学ぶ意義（生徒の記述）

・私たちの先祖で政治や憲法など国の決まりを使い、まとまった国を作ってくれたから、その背景を覚えたりしなければならない。
・歴史を学んで昔の日本や世界のあやまちを繰り返さないようにするために必要で大切なことだと思っている。また、世界と日本とのつながりを知れるので、いろいろ役立つと思っている。
・過去に起きた戦争や国家間の争いの原因と結果から、より良い国際関係を築く手段を生み出せると思う。
・日本人として先祖達がどういう事をして日本を作ってきたのか知るべきだし、現代の国際社会では海外の事を知ることも大切だと思う。地理も役に立つ場面はたくさんあると思う。
・自分たちの国である日本が今どういう経緯で存在しているか知ることは必要だと思う。世界で起きた出来事が日本に影響することも多いから、結びつきを知るのは大切。

＜否定的回答＞
・私はまだ歴史を学ぶ意義がわからない。
・意味ないと思う。それなら経済とか、もっと役に立つほうを勉強すべき。

具体的手立て③《研究成果の検証》

授業に対する評価（生徒の記述）

・板書やグループワークのバランスはとても良いと思います。グループワークではいろんな人の意見を聞くことで様々な視点で見ることができるのでとても楽しいです。
・ペアワークなどで友達同士で教え合いながら授業が進んでいるから、とてもわかりやすいしくわしく聞けて理解も深まっていくと思った。
・授業で使っているプリントは自分で調べないとできない問題が多いので、調べることによって記憶に定着するから効率よく勉強ができて良い。
・グループワークをすることで同じ問いでも自分と異なる意見を知れる良い機会だし、出来事などを自分でまとめることで、まとめる力も付く。

＜改善点など＞
・教科書に載っていない事まで調べるのは少し面倒くさい。板書が多い。
・板書の時は意欲的に取り組めるが、ペアワークの時は緊張してしまい、ペアワークがうまくいかなくて困ることがあります。
・ペアワークやグループワークを増やして板書の量をコンパクトにしてくれたらみんなの授業への意欲が上がると日頃思っている。
・ペアワークは良いのだが、内容が難しすぎる。

まとめ《今後の課題》

１　授業改善（科目間連携、AL型授業等）の結果

◆よく耳にすること◆

「十分な知識が得られるのか（疎かにならないか）……」
「進度が遅れるのではないか……」
「ハイレベルな生徒ならできるが、自校ではムリ……」

⇒ ①知識・理解が不十分となることはない。生徒自身が学ぶようになる。《意欲や主体性の涵養》
②１単位時間の使い方を工夫するようになる。
③偏差値40レベルでも授業は成立《７割は肯定的》

２　今後の課題

（１）低学力層、学習意欲の低い生徒に対する指導の工夫・改善
（２）同情・感情（シンパシー）に流されない思考・表現
（３）必然性と効率性　例）グループ学習、ワークシート

平成29年度　国立教育政策研究所
教育課程研究センター関係指定事業 研究協議会

地理歴史における科目相互の連携

世界史・日本史を中心に

ご清聴ありがとう
ございました



北海道伊達緑丘高等学校

◇日時◇ 平成30年2月9日（金）
◇会場◇ TKP渋谷カンファレンスセンター

発表者（研究主任） 寺沢英幸　hide.r.terasawa@hokkaido-c.ed.jp